

一 般 質 問 通 告 表

平成29年第3回始良市議会定例会 < 9月6日(水) 午前10時 ~ >

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 新福 愛子	1. 性犯罪・性暴力被害者を守る環境整備	<p>女性に対する暴力は重大な人権侵害である。</p> <p>性犯罪・性暴力被害者の多くは被害に遭ったことを誰にも相談できずにいる。なんとか誰かに相談し、あるいは支援を受けようという気持ちになっても必要な支援にたどりつくまでには、いくつもの支援機関等に足を運び、そのたびに自分の身に起こったことを説明し、その過程で相手の心ない言動に傷つけられてしまい、気持ちが萎え、結局何の支援も受けられないといった悲惨な現状もある。</p> <p>女性活躍推進といっても女性に対するあらゆる暴力の根絶により女性の人権が確かに守られる社会の環境整備が不可欠であり、その一環として警視庁は各都道府県の性犯罪相談電話に繋がる全国共通の短縮ダイヤル「#8103」(ハートさん)の運用を開始した。本市における現状と課題を問う。</p>	市 長 教育委員長
	2. 学校給食のあり方について	<p>学校給食は子どもの心身の健全な発達のためだけではなく、食育をはじめ近年では子どもの貧困問題にも関わる位置づけとなってきている。</p> <p>本市では、安全・安心の充実した学校給食が維持されているが、始良地区8校の単独調理場と加治木学校給食センターは文部科学省の定める「学校給食衛生管理基準」に適合していない現状にあり改善を求められている。</p> <p>施設や設備の老朽化などのハード面とともに、調理員の働きやすい環境整備といったソフト面も含め、待ったなしの深刻な課題が山積していると考えます。今後のあり方について問う。</p>	教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 新庁舎建設に職員の働きやすい環境整備を	<p>新庁舎の建設計画に、食事や休憩がとれるスペースやロッカー、女性職員のパウダーコーナー（化粧直し）付トイレの設置など職員が効率よく快適に業務にあたれる環境づくりも必要ではないか。</p> <p>職員にとって働きやすい職場環境が、市民にとっての親しみやすい庁舎にも繋がると考えるがどうか。</p>	市 長
2. 竹下 日出志	1. 食品ロス削減に向けた取組の推進について	<p>食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」は家庭やスーパー、ホテルやレストランなどあらゆるところで見受けられる。農林水産省によると、日本では年間2,797万トンの食品廃棄物が発生しており、このうちの632万トンが食品ロスと推計されている。</p> <p>すでに先進的な自治体では、様々な食品ロス対策が行われてきている。長野県松本市は、宴会の食べ残しを減らすため、乾杯後の30分と終了前の10分は自席で食事を楽しむ「30・10運動」を進めている。またNPOの活動としては、消費期限が迫った食品を引き取り、生活困窮者へ無償提供する「フードバンク」が有名である。</p> <p>国連は、2030年までに世界全体の一人当たり食品廃棄物を半減させる目標を採択している。</p> <p>(1) 本市においても、家庭における食品在庫の適切な管理や食材の有効活用の取組をはじめ、飲食店等における「飲食店で残さず食べる運動」や「持ち帰り運動」の展開など、市民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けての取組を進めることが重要であると考えがどうか。</p> <p>(2) 学校や幼稚園、保育所など教育</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. フッ化物洗口でむし歯予防の推進について</p>	<p>施設における学校給食や食育・環境教育などを通して、食品ロス削減のための啓発を進めるべきであると思うがどうか。</p> <p>(3) 本市の災害備蓄食品については、これまでは消費期限後に廃棄してきたと思われるが、今後は未利用備蓄食品の有効活用の観点から、例えば消費期限6か月前などにフードバンク等への寄付等を検討してはと考えるがどうか。</p> <p>フッ素（フッ化物）は歯にとって最強の味方。歯を強くして、むし歯の発生を防ぐ。フッ素は私達の身の回りのあらゆるものに含まれている自然元素である。また、骨や歯にとって欠くことのできない微量栄養素として、1日およそ1mgから3mg程度必要とされている。しかし、飲食物として摂る量だけではむし歯予防には不十分とされている。</p> <p>厚生労働省「フッ化物洗口ガイドライン」にフッ化物洗口は、とくに4歳から14歳までの期間に実施することが、う歯予防対策として、最も大きな効果をもたらすことが示されている。</p> <p>鹿児島県は、「かごしま歯と口腔の健康づくり県民条例」鹿児島県歯科口腔保健計画に基づいてフッ化物洗口を推進している。</p> <p>(1) 本市の保育園、幼稚園、小・中学校でフッ化物洗口を推進すべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 県内では、フッ化物洗口等を推進するため、専任歯科衛生士や嘱託歯科衛生士を配置している。本市でも専任歯科衛生士が必要と考えるがどうか。</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>3. 公共施設の効果的利用とあり方について</p>	<p>少子高齢化、人口減少が急速に進む日本社会。時代の変化をどう読み、先手を打つか様々な団体や企業が、生き残りを懸けて必死の努力を重ねている。</p> <p>今、多くの自治体が直面する課題が公民館など公共施設の維持である。かつて盛んに造られた「ハコモノ」は維持管理がかかり、財政を圧迫する。しかし、神奈川県のアシタカ市は逆転の発想で、この「お荷物」を「宝の山」へと変えている。</p> <p>例えば、市役所の敷地内にコンビニを開設する。賃料が入るとともに、市役所の利用者の利便性向上にもつながった。また、保健福祉センターの空き会議室を民間に貸与している。市民のための「パソコン教室」などが開設され、その使用料は施設の維持管理費に充てられる。こうした改革で、財政状況を大きく改善できたという。資源や財源は有限だが、人間の知恵は無尽蔵だ。どんな悪条件でも、必ず活路は開ける。大事なのは「時代の先を見る目」と「逆境を好機へ変える知恵」である。</p> <p>(1) 本市では、加治木地区で市営駐車場を設置している。年間の駐車場使用料はどのようになっているか。</p> <p>また、始良地区や蒲生地区でも市営駐車場を設置する考えはないか。</p> <p>(2) 本市の公共施設では、ネーミングライツの募集要項や、どのような施設を対象として考えているか。</p> <p>(3) 市役所の敷地内にコンビニの開設や、公共施設の空き会議室を民間に貸与し、「学習塾」・「パソコン教室」等に貸し出す考えはないか。</p>	<p>市 長 教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3. 森川 和美	1. 市内各駅の駐輪場について	<p>始良駅の駐輪場は、駅前周辺の雨水排水対策と併せて、道路整備及び駐輪場が立派に整備された。</p> <p>駅前広場としては最高な環境となったが、ほかの重富駅、帖佐駅などは見苦しい限りである。</p> <p>(1) 今後どのように整備していく考えか。</p> <p>(2) 市民が利用する施設は可能な限り公平な環境に努力すべきではないか。</p>	市 長
	2. コンビニでの各種証明書交付を急げ	<p>全国の自治体ではコンビニで税金、保険料納付等の各種証明書発行が進んでいる。</p> <p>本市においても、税金、保険料の納付は5年前から実施され、市民から喜ばれていると同時に、徴収率増にもつながっている。</p> <p>しかしながら、各種証明書発行は、まだできていない状況である。このことは、今後の複合新庁舎建設、市民窓口業務の設計等や、人員配置にも影響が及ぶのではないか。</p> <p>今後の進め方、考え方を示せ。</p>	市 長
	3. 事業所のごみ減量対策について	<p>近年、家庭ごみについては、官民のあらゆる努力によって減っているが、事業系ごみは逆に増加傾向である。このことに対して、今後どのような対策指導等をしていくのか。</p> <p>以前、事業系のごみ出し袋も透明な袋に統一すべきと提案した経緯があるが、今現在、実施されているか。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4. 小山田 邦弘	1. 子ども・若者の育成支援について	<p>(1) 基本的考え方について 子ども・若者育成支援推進法において、市町村は区域内における子ども・若者育成支援についての計画を作成するよう努めるものとしてされている。本市の取組と子ども・若者育成支援の基本的考え方を示せ。</p> <p>(2) 国や県との連携について 同法は、地方公共団体は、国及び他の地方公共団体との連携を図りつつ、子ども・若者の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有するとしている。本市は国や県とどのような連携を取っているのかを示せ。</p> <p>(3) 啓発について 同法では、国及び地方公共団体は、子ども・若者育成支援に関し、広く国民一般の関心を高め、その理解と協力を得るとともに、社会を構成する多様な主体の参加による自主的な活動に資するよう、必要な啓発活動を積極的に行うものとしてされているが、本市の状況を示せ。</p> <p>(4) 子育て支援について 同法において、地方公共団体は、子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介その他の必要な情報の提供及び助言を行う拠点（子ども・若者総合相談センター）としての機能を担う体制を、単独で又は共同して、確保するよう努めるものとしてされているが、本市の状況を示せ。</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 湯元 秀誠	1. 中山間地域の移住定住をもっと積極的に	<p>中山間地域に住む者として質問を行う。</p> <p>今、中山間地域に住んでおられる方々は、集落の今後、将来がどのような模様で進んでいくのか。</p> <p>自治会機能などの継承や、地域、集落の道路、農地や環境の保全など営農を中心とした団体組織の共同活動の人材・力減少など、住民に大きく不安が醸成されつつある。</p> <p>現在の世情を深く理解しても、人材の減少は否めない現実がある。</p> <p>(1) 29年度において復活事業の始良市ふるさと移住定住促進事業の進捗内容を示せ。</p> <p>(2) 以前の事業の成果の実績と3か年の時限条件の復活事業に及んだ理由、取組の違いは何か問う。</p> <p>(3) 住民への啓発や、市外での事業説明会はなされているか。</p> <p>(4) 他の自治体では都市部からの移住を誘発する取組がなされ、ホームページでも目利きし易い工夫がある。</p> <p>始良市の情報発信の反応や、事業の成果をどう見出しているか。</p> <p>(5) 若い層に田舎暮らしを望む方々も潜在的に多いと言われるが、一方的情報では重大なる決心に至るとは考えにくい。</p> <p>「お試し滞在」「暮らし体験ツアー」「短期滞在施設」など、早期の移住を促進するための拠点施設の活用自治体もある。始良市の個性を発揮した取組は考えないか。</p> <p>(6) 住まいと仕事(雇用)は移住者にとって不可欠な条件と課題である。移住希望者の相談内容や認定された方々の課題の解消事例や感想の紹介</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 森林組合の各事業と市の関与について</p>	<p>などなされているか。</p> <p>(7) 農業、畜産業の活性化に繋がる新規就農者奨励金事業と、移住・定住促進事業とどのようにリンクされているか。</p> <p>(8) 空き家バンクとの横断的取組はなされているか。市のホームページだけか。</p> <p>(9) 「質の高い居住空間」を創出するには物と心を市民と共有することが大事と、施政方針で述べられている。本事業の活用は行政側も積極的に取り組み、集落の役員や各団体組織も情報を共有して外の人を迎えることで地域も盛り上がる。共有する施策を問う。</p> <p>現在の森林事業は材価の低迷や林業家の担い手不足などで山林への関心が薄く放棄山林も見られる。その状況下で森林組合の果たす役割や、存在は大きなものがある。その森林組合で所有者の同意を得ずの間伐事業が起き、新聞にも取り上げられ、民事訴訟へと発展し原告の勝訴となった。</p> <p>(1) 森林組合の各事業は市の関与が大きいですが、市長は森林組合組織の中で何らかの位置づけ、役割を担っているか。また、この事件では発覚当時に市への報告があったか。</p> <p>(2) 市の対応や指導、助言はなされたか。</p> <p>(3) この事件の訴訟は、過失の起因の転換がその下にあると聞く。追及は何処が行い、誰が責任を負うのか確認はなされているか。また今後の改善策を問う。</p> <p>(4) 始良市は林業事業には森林組合</p>	<p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>作業員の社会保険料等を補助している。将来性のある林業の担い手の作業員に不慮の事故が起きているが市への報告はあったか。今、民間企業などでは、安全対策が最も優先されている。市ではどのような指導がなされているか。</p>	

